| 建設企業常任委員会資料 |
| --- |
| 2026 年(令和８年)９月 25 日 |
| 都市局道路安全室道路整備課 |

# 江井ヶ島松陰新田線整備事業の取組状況及び事業期間の延伸について

みだしの件について、下記の事由により事業期間を延期することを報告いたします。

## 1 各種取組状況と課題

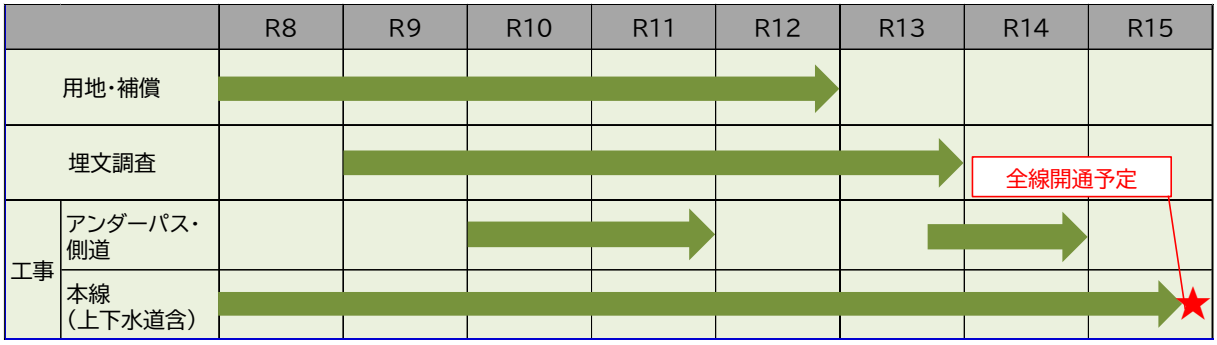
| 項目 | 現状と課題 | 今後の対応・方針 |
| --- | --- | --- |
| ① 交通安全対策<br>公安委員会協議 | 公安委員会と、地域からの信号機及び横断歩道設置の要望について協議を重ねてきたが、同委員会の交通安全施設設置基準が厳格であるため、設置は極めて困難な状況にある。 | 市単独で対応できる箇所については、「立体交差(アンダーパス)」および「側道整備」に方針を転換し、信号機設置が不可欠な箇所については、引き続き公安委員会と協議を継続する。 |
| ② 用地買収・<br>埋蔵文化財調査 | 令和 3 年度より用地交渉を進め、面積ベースで約 8 割の契約を締結済みであるが、残る約 2 割については、合意に向けた条件調整になお時間を要する状況にある。 | 用地交渉を引き続き丁寧に進めるとともに、アンダーパス化に伴う追加用地の確保を進め、難航する箇所については法的手続き(土地収用法)の適用も視野に入れ、早期取得を目指す。 |
| ③ 過年度の工事<br>実績からの<br>工期影響予測 | 公安協議が難航しているため、道路の表面工事は未施工である。また、過年度の工事期間実績に照らすと、上下水道との合併工事や農繁期の工事制約があるため、当初の想定より工事期間を要すると見られる。 | 石ケ谷線の右折レーンなど、供用中の道路についても完成形に向けた改良を進めるとともに、神戸市市境付近の用地買収が完了した箇所から速やかに工事を計画する。<br>なお、市民生活に直結する老朽化した水道の送・配水管(直径 800mm)の更新工事についても、相応の期間を要する見込みである。 |
| ④ 神戸市との連携 | 接続先となる神戸市の玉津大久保線は、令和 8 年 4 月改定の神戸市みちづくり計画において「2030 年度までに整備推進を目指す路線」に位置付けられ、令和 10 年度の工事着工を目標とする計画である。 | 玉津大久保線は、明石市境から神戸市道明石国包線・野村明石線までを先行して整備を進める計画である。玉津大久保線と合わせて整備することで事業効果を最大限に発揮できるため、神戸市とも、これまで以上に連携する。 |

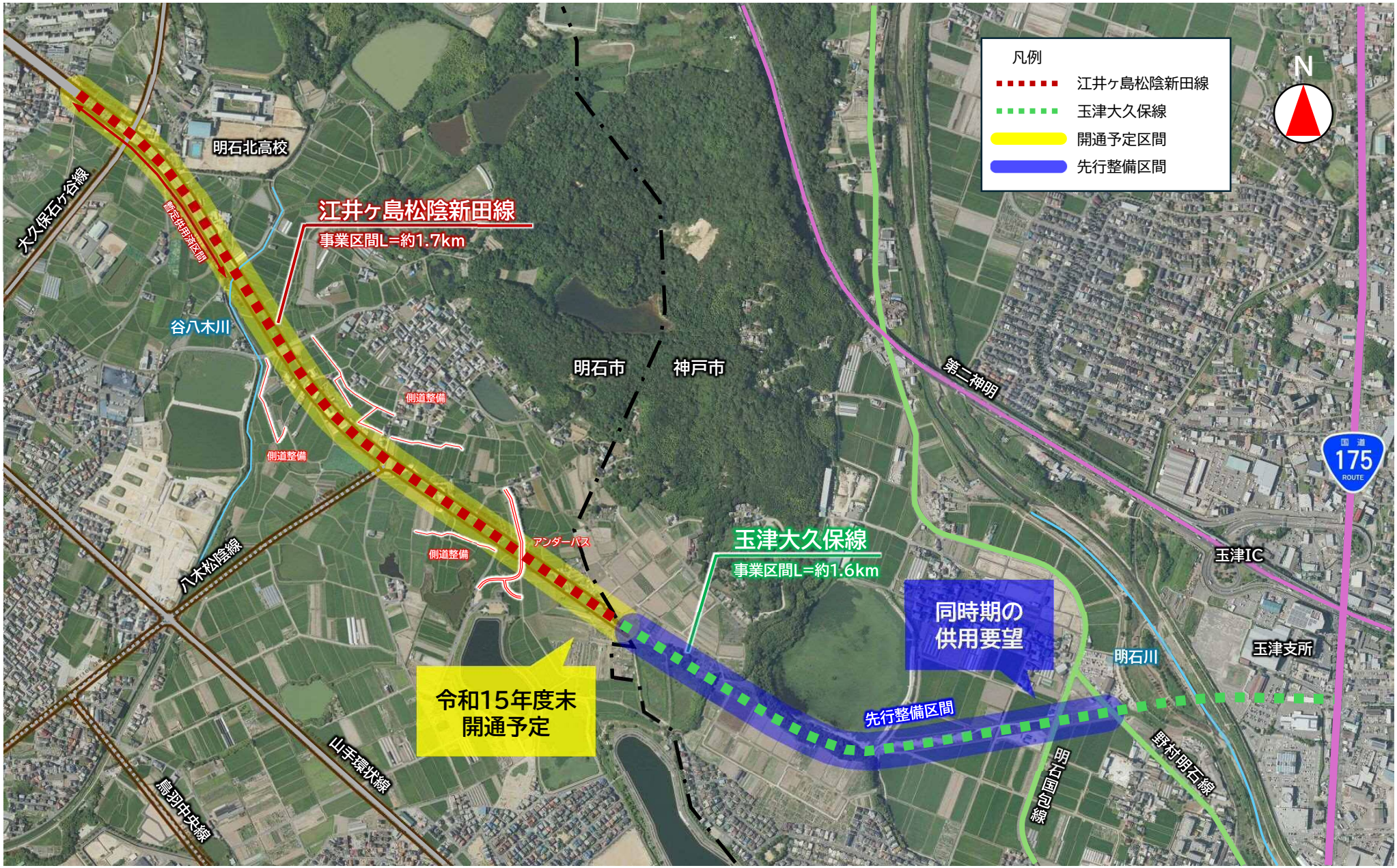
## 2 事業期間の見直し

上記の諸課題を総合的に勘案し、より現実的かつ確実な工程計画とするため、以下の通り事業期間を延伸する。

現目標:令和8年度末(2026 年度末) ➡ 新目標:令和 15 年度末(2033 年度末)

引き続き、神戸市との連携を強化するとともに、玉津大久保線の先行整備区間について同時期の供用を要望している。




凡例
江井ヶ島松陰新田線
玉津大久保線
開通予定区間
先行整備区間
N
江井ヶ島松陰新田線
事業区間L=約1.7km
玉津大久保線
事業区間L=約1.6km
令和15年度末
開通予定
同時期の
供用要望
先行整備区間
明石北高校
大久保石ヶ谷線
暫定供用済区間
谷八木川
明石市
神戸市
側道整備
側道整備
側道整備
アンダーパス
八木松陰線
第二神明
玉津IC
国道175ROUTE
明石川
玉津支所
野村明石線
明石国包線
山手環状線
鳥羽中央線